

支えあうコミュニティ 持続可能な未来

武蔵野市議会議員

内山さと子

活動報告 2018 緊急特集号

内山さと子&のびのび歩む会

〒180-0012 武蔵野市緑町 2-3-A9-506 TEL080-3758-1057

Email satochi@y8.dion.ne.jp <http://satoko-uchiyama.mond.jp>



どうなってるの？新クリーンセンター 7か月間に発火・発煙5回の異常事態

昨年4月に本格稼働したばかりの新クリーンセンター（緑町、廃棄物中間処理施設）で、昨年11月から今年6月までに5回の発火・発煙事故が起きています。原因が完全に特定できていないため、徹底した原因究明と今後の対策が急がれます。

市街地の工場火災、消防は万全の体制

最初に発火事故が起きたのは昨年11月22日。サイレンと共に続々と駆け付ける消防車両に、あたりは騒然としました。この時は集塵ダクトという場所で発煙したことから、その後、設備構造を変更する対策がとられました。

翌12月7日、今度は不燃・粗大ごみの集積場所から火災発生。消防の検証で、電池やライター等はありませんが、原因は特定できていません。

不燃ごみ・粗大ゴミ粗破砕時の発火が3回

2月22日は、今年度予算編成についての市長施政方針に対する代表質問が行われた市議会本会議、市役所7階にまで異臭がしました（写真上…西側の旧クリーンセンター解体工事中の重機も停止）。この2月以降4月23日、6月12日の発火・発煙が起きた場所は、不燃・粗大ゴミを最初に大まかに破砕して運ぶコンベア上で起きました。このうち6月については、電池が入ったままの卓上カセットコンロが原因とみられています。

リチウムイオン電池入り小型家電は有害ごみ

市議会では、5月に工場内設備を視察し、市と委託先の桂原環境プラントから説明を受け、今後の対策を求めました。

2月、4月の発火原因は、今のところ携帯電話や小型家電などに使用されるリチウムイオン電池とみられています。電池が外せない小型家電は、不燃ごみではなく有害ごみです。6月の発火事故以降、収集した不燃ごみの中に、こうした電池入り小型家電などが混入していないか確認してから工場に搬入しています（写真下）。根本的な問題の解決には、わかりやすい表示の義務付けやリサイクルの徹底など、製品の製造段階からの見直しが必要です。



写真上:2月22日の消防活動(市役所から)



写真下:不燃ごみを手作業で確認(6月25日)